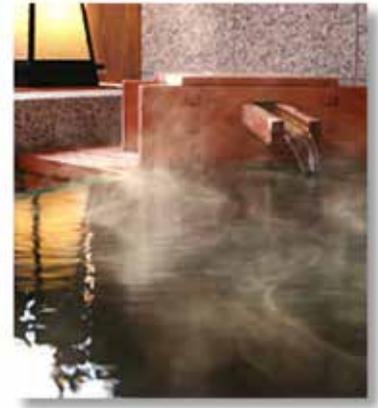


温泉旅館の皆様へ：風評被害でお困りではありませんか？

古くから湯治場として親しまれてきたラジウム温泉。放射線泉（ラジウム温泉）として、長くその効果をお客様に提供してきたにもかかわらず、原発事故後、「放射能」というだけで距離を置かれることがある、とも聞きます。ラジウム温泉のラドン(Rn)と事故に起因した放射性セシウムをガンマ線のエネルギーで区別して測定できる「ANSeeNもに太くん」。これまでどおりお客様に安心してご入浴いただける上、ラドンの線量も合わせて表示することで、その効果を実感していただくのに一役買います。



お風呂で測定、カウンターで表示

「ANSeeNもに太くん」は付属の専用ソフトをインストールしたWindowsパソコンにUSBで接続すれば準備はOK。その場ですぐに測定が開始できます。

パソコンなのでネットワークにも簡単に対応可能。浴場や源泉、屋外などで測定してカウンターでお客様に表示、といった新しいサービスにも対応できます。館内テレビシステムを組み合わせれば、いつでも客室のテレビに表示させることもできます。館内ネットワークの活用で低コストでの導入が可能です。



たとえば受け付けカウンターで。お客様のご質問にもお答えできます。

有用なラドン(Rn)と放射性セシウムを区別

事故直後には放射線検出器を手にしたお客様もお見えになったとか。しかし、それ放射線検出器は事故で発生した放射性セシウムと、古くからお客様に有用性を提供してきたラドンとの区別はできません。心ないブログなどではこれを混同した記載も多く、温泉旅館の皆様に加え、古くからご利用いただいていたお客様にも意味のない不安を与えてしまった場合があります。

「ANSeeNもに太くん」は放射線核種（放射能）に固有のガンマ線のエネルギースペクトルを用いてこれらを区別、それぞれ別個の線量値を表示することも可能。有用なラドンと放射性セシウムを区別することで、安心してお客様にご入浴いただけると共に、有用なラドン線量もリアルタイムでお客様に提供可能。効果をより一層ご実感いただけます。

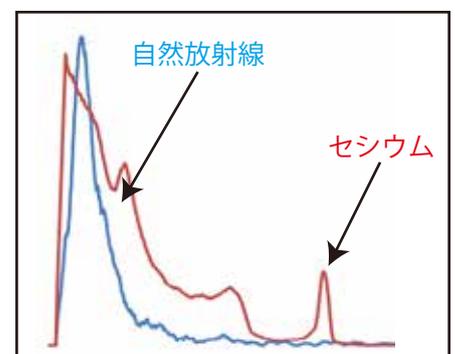


たとえば館内のテレビシステムで。お客様の「知りたい」を満足できます。

独自の高性能センサーからシステム開発まで トータルでおまかせください

ANSeeNのハードウェア、ソフトウェア技術でお客様のお望みのシステムへと柔軟に対応いたします（カスタマイズはお打ち合わせの上、最適な形でご提案、開発を進めさせていただきます。標準品以外の製品・システムの開発には別途期間および費用が必要です。）

たとえば、「放射線量だけでなく温泉のpHや温度を湯船だけでなく源泉も表示したい」「測定結果をインターネットでリアルタイムに公開したい」「今、の情報だけでなく年間の値をお客様にお示ししたい」「各種データを記録して集客に活用したい」など、様々なアイデアをソフトウェア技術だけでなく、センサーを含むハードウェア開発も含めて対応いたします。新たなサービスを思いついたら、是非お気軽にお問い合わせください。



ガンマ線のエネルギースペクトルはこんな感じです。もちろん専用ソフトでは線量も表示できます。